

市制75周年記念事業

アナ： 「市長が語る 2016 三島」第4回の今日は、「市制75周年記念事業」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 今年は三島市制が施行されて75周年と伺いました。昨年、終戦70年でしたから、戦時中に三島市はスタートしたということですね。

市長： そうですね。昭和16年4月29日に三島町と錦田村が合併して県下で6番目の市として三島市が誕生し、その後、中郷村を編入して現在のかたちになりました。市民の皆様のご理解とご協力のおかげで三島市はここまで成長し、そして、これからも皆様とともに発展し続けるまちでありたいと思っています。75周年は3四半世紀の節目の年ではありますが、財政厳しい折ですのでお金より知恵を出し合っ、時代に合った方法で75周年を皆様とともにお祝いしたいと考えています。

アナ： どのような記念事業が予定されているのですか。

市長： まず、市民の皆さまに一番喜んでいただけそうなのが、東京ディズニーシーのスペシャルパレードです。

アナ： 私も新聞記事で知りましたが、あのミッキーやミニーのパレードが三島で見られるということですよ。とてもびっくりしています。どういうことなんですか。

市長： 実は今年15周年を迎える東京ディズニーシーが、全国15の都市で記念パレードを行うにあたり、その1つに三島市が選ばれました。これは市からお金を出して招致したわけではないので、私も大変驚きました。75周年記念事業の「花のまちフェア」の開催に合わせていただき、5月29日の日曜日に実施されます。三島の街が花いっぱい一番美しい日に、ミッキーたちがさらに花を添えてくれることとなりますね。

アナ： 普段、なかなかディズニーリゾートまで行けないご家族にも、良い思い出をつくってもらえそうですね。その他にもイベントの予定はありますか。

市長： はい、他にもNHKの全国放送番組「新BS日本のうた」の公開収録が9月8日に市民文化会館で行われます。また、秋には「みしまの文化百花繚乱」と称して様々な文化事業が目白押しとなっています。みしまびとプロジェクトの皆さんが制作した映画「惑う」も今年公開予定で、4月29日の市制75周年記念式典での試写会を皮切りに市内外での試写会が予定されています。そのほか、市が主催する既存の事業についても、記念事業と銘打ち、内容を充実してまいります。

アナ： 楽しみな1年ですね。

市長： はい、節目を祝うということは、同時に次の節目に向かって新たな目標を定めたり、これまでの実績を振り返ったりする契機にもなりますので、とても大切な

ことだと考えています。75周年の三島の姿を記憶にとどめ、5年後、10年後にはもっといい街にしていきたいですね。

アナ： 最近の三島は街が大変に賑わっていて、元気だなと感じます。

市長： ありがとうございます。花を活かし、美しく品格のあるまちづくりを進めるガーデンシティの取り組みが実を結び、また伊豆フルーツパークや三島大吊橋がオープンしたこともあり、三島を訪れる観光交流客数は5年前の430万人から今年度は700万人に達する見込みです。これは何より市民の皆さんとの協働によるまちづくりの成果だと思っています。

アナ： そうなんですね。ボランティアの方が街で花を植えてくださったりしているのを見かけるたびに三島には地域を愛する方が多くいらっしゃることを嬉しく感じます。一方で、少子高齢化や人口減少などが問題になっていますが、これからの三島の将来に向けた取り組みはどんなものがありますか。

市長： 三島市では昨年度、次の5年間に向けて「住むなら三島総合戦略」を策定しました。まずは企業誘致などで若者の働く場をつくること、結婚や出産を望む人の希望をかなえ、さらに子育てまでを切れ目なく支援すること。そして引き続き、ガーデンシティをさらに発展させていくことなどを盛り込みました。このような取り組みを通じて「三島に生まれてよかった、育ってよかった、暮らしてよかった」と誇れるまちづくりを進めていきたいと考えています。

アナ： 市長のお話を聞いて、これからも三島はより一層住みやすく魅力あるまちに発展していくのだと期待が持てました。記念事業も楽しみにしています。本日はありがとうございます。

市長： ありがとうございました。